

◆ 2016年 第33週(8/15~8/21)の感染症発生動向(届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 1類感染症 なし
- 2類感染症 結核(東讃 1件、中讃 1件、西讃 1件)
- 3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症(中讃 6件)
- 4類感染症 日本紅斑熱(東讃 1件)
- 5類感染症 クリプトスポリジウム症(中讃 1件)、急性脳炎(高松 1件)

修正 第31週 第5類感染症 2→3(中讃 侵襲性肺炎球菌感染症 0→1)

■定点把握感染症の発生状況 ☆ 比較は定点あたり的人数による

- 感染性胃腸炎(ウイルス、細菌)に気をつけましょう。
調理や食事の前、トイレの後には石けんと流水でこまめな手洗いをこころがけましょう。
- ヘルパンギーナ、手足口病や咽頭結膜熱等、夏の感染症に気をつけましょう。
手洗いやうがい、十分な水分と栄養の補給を心がけましょう。また、タオルの共有は避けましょう。
咳やくしゃみのある時は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りから顔を背け1~2m離れましょう。

蚊やダニに刺されないように気をつけましょう!!
屋外や山では**長袖・長ズボン**を着用するなど、肌の露出をできるだけ避けましょう



2016年第33週の感染症発生動向調査による報告患者総数は347人で、前週(323人)の107.4%となった。

1. 感染性胃腸炎(ウイルス)の報告は、県全体(4.5→5.3)で増加している。中讃地区を除く全ての地区で前週より増加した。
2. 流行性耳下腺炎の報告は、県全体(1.6→1.4)で減少している。
3. ヘルパンギーナの報告は、県全体(0.9→0.8)で横ばいで推移している。
4. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告は、県全体(1.3→0.7)で減少している。
5. 咽頭結膜熱の報告は、(0.5→0.6)で横ばいで推移している。

◆ 今週の上位疾患(小児科定点からの法定届出疾病)

疾患名	今週	前週	前週比	過去5週の平均	過去10年の平均	全県	高松市	小豆	東讃	中讃	西讃
① 感染性胃腸炎(ウイルス)	5.3人	4.5人	117.6%	4.2人	3.0人	○↗	○↗	○↗	○↗	○↘	○↗
② 流行性耳下腺炎	1.4人	1.6人	88.6%	1.7人	0.6人	○↘	△↘	○↗	・↘	○↗	○↘
③ ヘルパンギーナ	0.8人	0.9人	95.8%	1.9人	1.8人	△→	△→	・	△↗	○↗	・↘
④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.7人	1.3人	55.6%	1.6人	0.5人	△↘	△→	○↗	△→	△↘	○↘
⑤ 咽頭結膜熱	0.6人	0.5人	138.5%	0.5人	0.4人	○→	○↗	○→	○↗	△→	○↘

記号の説明 今週の流行状況: ○流行(警報レベルに達している) ○やや流行 △散発 ・患者発生報告無し
前週との比較: ↑急増 ↗増加傾向 ↘減少傾向 ↓急減 →横ばい ・報告無し

◆ 病原微生物検出情報

細菌	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	検出方法	検出数	備考
なし							

ウイルス	検体	検体採取日	地区	臨床診断名	検出方法	検出数	備考
Coxsackievirus B1	咽頭	2016/8/11	西讃	上気道炎	遺伝子検査	1	
Echovirus 6	咽頭	2016/8/12	西讃	ウイルス性胃腸炎	遺伝子検査	1	
Parainfluenzavirus 3	咽頭	2016/8/1	東讃	下気道炎	遺伝子検査	1	
Parechovirus3	糞便	2016/7/21	中讃	不明熱	遺伝子検査	1	
Parechovirus3	咽頭	2016/7/27	東讃	不明発疹症	遺伝子検査	1	
Parechovirus3	咽頭	2016/8/5	中讃	不明熱	遺伝子検査	1	※1
Parechovirus3	糞便	2016/8/5	中讃	不明熱	遺伝子検査	1	※1
Parechovirus3	咽頭	2016/8/4	東讃	下気道炎	遺伝子検査	1	
Parechovirus3	糞便	2016/8/5	高松市	筋炎	遺伝子検査	1	※2
Parechovirus3	咽頭	2016/8/5	高松市	筋炎	遺伝子検査	1	※2
Parechovirus3	髄液	2016/8/10	西讃	不明熱	遺伝子検査	1	※3
Parechovirus3	咽頭	2016/8/10	西讃	不明熱	遺伝子検査	1	※3
Rhinovirus	咽頭	2016/8/8	中讃	その他	遺伝子検査	1	

※1 同一患者 ※2 同一患者 ※3 同一患者

平均湿度:65.9%

地区別報告状況

Table with columns for disease names, weeks (今週, 前週, 2週前, 3週前, 過去5週, 過去10年), and regions (高松市, 小豆, 東讃, 中讃, 西讃). Includes sub-sections for 小児科定点, 眼科定点, インフルエンザ定点, and 基幹定点.

※ 地区別定点数の内訳

Summary table showing the breakdown of designated points by region: 高松市, 小豆, 東讃, 中讃, 西讃.

各地区の流行状況

- 流行警報地区 (Red box)
流行注意地区 (Yellow box)

小豆地区の小児科定点が第10週より2定点→1定点に変更されました。
インフルエンザ定点が第10週より3定点→2定点に変更されました。

年齢別報告状況(人数)

Large table showing age-specific reporting status (人数) for various diseases across different age groups (5 months to 80+ years).